

<b>チフェンスルフロンメチル水和剤</b> <b>ハーモニー 75DF 水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> ホクサン、丸和  <b>原体メーカー：</b> FMC
<b>成分：</b> チフェンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕…75.0%	<b>性状：</b> 淡褐色微粒及び細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消除法：</b> —

### 【品目特性】……………

#### 〈牧草，草地〉

- 生育期のギシギシに対し根まで枯らす優れた除草効果を発揮する。
- 一番草刈取後（夏処理）から最終番草刈取後（秋処理）まで幅広く使用できる。
- 土壤中の分解が速いので後作物への影響がほとんどない。

#### 〈麦〉

- スズメノテッポウや多くの一年生雑草に対し，単一（一発）又は体系処理で優れた効果を発揮する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

#### 〈牧草，草地〉

- 調製した薬液は速やかに使用する。
- ギシギシの葉が展葉してから散布する。
- 散布後21日間は採草及び放牧を行わない。
- 本剤の新播草地定着後の散布適期はギシギシ類草丈20cm以下であり，生育の進んだ雑草には効果が劣るので，時期を失ないように散布する。

#### 〈麦〉

- 展着剤の加用がのぞましい。
- 体系処理の場合は土壌処理剤との体系で使用。
- 小麦（春播）に使用する場合，イネ科雑草には効果が劣るので，イネ科雑草に有効な土壌処理剤との体系で使用する。
- 本剤の散布適期はスズメノテッポウ5葉期まで，カズノコグサ1～3葉期であり，生育の進んだ雑草には効果が劣るので，時期を失ないように散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用外作物（有用作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- タンク内や散布器具に残ったハーモニーは微量でも他作物に影響を及ぼす可能性があるため，ハーモニー洗浄剤を用いた所定の手順で洗浄する。
- クローバーに対しては薬害を生じるので使用しない。
- 新播草地では薬害のおそれがあるため，0.5～1gの薬量で使用する。
- 実生以外のギシギシ類には効果が劣るので，実生のギシギシ類に対して使用する。
- 砂土では使用しない。

### 【安全対策上の注意】……………

- 散布液の飛散や流出によって有用植物に薬害を生じることがあるので，周囲に有用植物がある場合には，ドリフトレスノズルを使用する。

【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤及びチフェンスル フロシメチルを含む農 薬の総使用回数
				薬量	希釈水量		
小 麦	—	一年生広葉雑草	春播栽培の 小麦 3～5 葉期	3～5g	100 ℓ	雑草茎葉 散布 又は 全面散布	1 回
		ギシギシ類	秋播栽培の 幼穂形成期 但し、 収穫 45 日前まで				
		一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	は種後～ 節間伸長前	5～10g			
		一年生広葉雑草	節間伸長開始期 ～穂ばらみ期 但し、 収穫 45 日前まで	3～10g			
		カズノコグサ	麦 1 葉期～ 節間伸長前	10g			
大 麦	—	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	は種後～ 節間伸長前	5～10g			
		一年生広葉雑草 ギシギシ類	採草 21 日前まで (雑草生育期)	3～5g			
牧 草	牧野，草地	ギシギシ類	新播草地定着後 但し、 採草 21 日前まで (雑草生育期)	0.5～1g			
飼料用とうもろこし	—		耕起 7 日前まで (雑草生育期)  飼料用 とうもろこし 2～4 葉期 (雑草生育期)	2g			